

2015年10月1日

当院で大動脈弁疾患の治療を受けられた 患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名：重度大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術の有効性と安全性を検討する
多施設共同レジストリー

◆研究の目的と概要◆

当院では、重度大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術を施行された患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。また治療後の経過を直接お電話やかかりつけの先生に連絡し調査させていただきます。

なお、この研究は、京都大学 循環器内科 木村 剛先生が主体となって実施しており、全国6施設が参加しています。

◆対象となる患者さん◆

2013年10月より2018年9月の期間に重度大動脈弁狭窄症に対し大動脈経カテーテル的大動脈弁留置術を施行された方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重など

これまでの治療経過、各種検査の結果および治療後の経過

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 研究責任者 後藤 剛

心臓血管外科 研究責任者 小宮 達彦

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究推進部）

（★を@に変換して使用して下さい）